



工藤美和子 [著]  
**賢者の王国 愚者の浄土**  
 日本中世誓願の系譜

2019年 5月刊行

定価: 本体6,500円(税別)

▶ A5判上製・280頁 ISBN978-4-7842-1958-2

平安初期から院政期にかけて、みづからがもつ知識と財力によって理想的世界を実現する義務を負っている「賢者」としてふるまい、人々を悟りへと導こうとした文人貴族や撰閲家の有力者、天皇・上皇がいた。一方、中世初期には、人は仏の誓願の力によってしか救われない存在であると気づき、自らは「愚者」とであると自覚した法然とその周辺の人々があらわれた。

過去の「賢者」と「愚者」がそれぞれに構想した理想世界を、彼らの誓いの言葉を通して追うことで、日本浄土思想史に新たな知見を示す。

◆ 内容目次 ◆

**第Ⅰ部 賢者の王国**

**第一章 菅原道真の仏教信仰**

- 第一節 悲嘆の吐露から超克へ—讃岐守赴任以前
- 第二節 地域社会と仏事の主宰—讃岐守時代
- 第三節 垂迹した天皇—帰京後の道真

**第二章 「狂言綺語は讃仏乗の因とす」**

—勸学会とは何だったのか

- 第一節 慶滋保胤の詩文にみる仏教観
- 第二節 勸学会結衆たちの仏教観

**第三章 院政—天皇と文人貴族たち**

- 第一節 仏界の荘厳—法勝寺とは何のために建てられたのか
- 第二節 仏教と都市
- 第三節 鳥羽上皇の願文にみる浄土信仰  
—九品往生と唯心浄土

**第Ⅱ部 愚者の浄土**

**第一章 貞慶の『舍利講式』と『愚迷発心集』**

—愚かであること (一)

- 第一節 釈迦と舍利—隠されているものの宗教史
- 第二節 愚かなる自己—貞慶『愚迷発心集』

**第二章 法然の語り—愚かであること (二)**

- 第一節 愚癡の法然—念仏往生観
- 第二節 法然の語り—念仏往生の願は男女をきらはず

**第三章 法然の継承者たち**

- 第一節 殺生と念仏  
—『法然上人行状絵図』にみる蓮生の念仏往生
- 第二節 嵯峨念仏房の念仏往生観
- 第三節 姓名を捧ぐ  
—勢観房源智「阿弥陀如来像造立願文」にみる  
来迎する法然

あとがき  
 索引

**思文閣出版**

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-533-6860 fax. 075-531-0009  
<https://www.shibunkaku.co.jp> E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	賢者の王国 愚者の浄土 日本中世誓願の系譜 本体6,500円(税別) ISBN978-4-7842-1958-2			
お名前		tel			
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	代引 (書籍代+消費税+送料600円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎				

本書HPのQRコード



**平安期の願文と仏教的世界観**【オンデマンド版】

工藤美和子著

佛敎大学研究叢書

願文とは、法会の主催者である願主が、仏に願意を述べる文章である。本書では、願文自体が何を語ろうとしているのか分析することで、天皇から中下級貴族・女性・僧侶にいたる人々の仏教理解や具体的信仰のあり方、所属する社会集団内部でのそれぞれの構成員が果たした公共的な役割、寺院や僧侶と世俗社会との関わり方を明らかにする。

▶A5判・368頁／本体7,400円

ISBN978-4-7842-7014-9

**撰関院政期思想史研究**

森新之介著

撰関院政期における民衆仏教史観の研究史を整理し、当該期の思想家たちや事象の考察および実証研究を深めることにより、通説としての民衆仏教史観と切り結び、その実像を鋭く描き出す。日本の思想上、極めて重要な時期の一つとされる撰関院政期の思想史叙述に修正を迫る一書。【第8回日本思想史学会奨励賞受賞】

▶A5判・352頁／本体6,500円

ISBN978-4-7842-1665-9

**法然上人絵伝の研究**

中井眞孝著

著者のライフワークである法然上人絵伝の研究を集大成した学界待望の論文集。知恩院本『法然上人行状絵図』の成立、絵伝諸本の個別研究をはじめ、専修念仏に先立つ百万遍念仏の歴史的展開を考察した2論文、古代仏教に関する論考4編を含む、合計19編からなる。今後の法然上人伝記研究を進める上で基本文献として貴重な一冊である。

▶A5判・478頁／本体9,500円

ISBN978-4-7842-1694-9

**神仏習合の歴史と儀礼空間**【オンデマンド版】

嵯峨井建著

日本宗教史の基本位置にある神道と仏教との関わりを、祭祀・法会の空間である神社・寺院の儀礼空間を視点に論じ、神仏習合の実態を明らかにする。神宮寺における神祇奉斎、寺院附属の鎮守社、仏教儀礼である神前読経、神職系図に基づいた神道周縁の仏法との関わりなど、豊富な事例とともに神仏習合の諸形態を丹念にまとめた実証研究。

▶A5判・430頁／本体8,600円

ISBN978-4-7842-7000-2

**中世京都の都市と宗教**【オンデマンド版】

河内将芳著

これまで「町衆」の祭祀としてイメージされてきた中世の祇園会（祇園祭）や、「町衆」の信仰とされてきた法華信仰・法華宗など、都市社会と宗教・信仰との関係について、山門延暦寺に関する研究成果や中近世移行期統一権力の宗教政策論に即してとらえ直すことにより、その実態をあらためて問い直す。（初版2006年）

▶A5判・424頁／本体6,800円

ISBN978-4-7842-7006-4

**日本中世の社会と寺社**

細川涼一著

律宗・律僧が中世社会で果たした役割を中心に、女性や被差別民など、歴史の主流からこぼれ落ちがちなものたちへまなざしを注ぎ、境界領域から歴史を問い続けてきた著者の主要な研究成果をまとめた一書。

【内容】Ⅰ中世律宗と公武政権／Ⅱ中世社会と律僧／Ⅲ中世の北野社と石清水八幡宮／Ⅳ源義経の妻と母

▶A5判・452頁／本体7,700円

ISBN978-4-7842-1670-3

**中世文化と浄土真宗**

今井雅晴先生古稀記念論文集編集委員会編

常に日本中世宗教史研究を先導してきた、筑波大学名誉教授・今井雅晴先生の古稀を記念して、国内外におよぶ幅広い層の研究者が、親鸞と浄土真宗史研究の進展を期した最新研究28本を寄せた大冊。

【内容】Ⅰ中世文化の中の浄土真宗／Ⅱ法然から親鸞へ／Ⅲ親鸞の思想／Ⅳ親鸞とその家族／Ⅴ親鸞とその門弟／Ⅵ浄土真宗の展開

▶A5判・654頁／本体13,000円

ISBN978-4-7842-1636-9

**日本中世の地域社会と仏教**

湯之上隆著

静岡大学人文社会科学部研究叢書

写経や法会、開板事業、偽文書など様々な事象を通して、個人や集団の宗教行為がいかなる社会性を持ったのか、中世の地域社会における、仏教と社会との関係性を明らかにする。静岡県を中心とした地域の寺社文書の詳細紹介、紀行文から見る地域社会など、「宗教」と「地域社会」をキーワードとして古代から近代までの社会を概観する論集。

▶A5判・384頁／本体8,000円

ISBN978-4-7842-1773-1

**権者の化現 天神・空也・法然**

今堀太逸著

佛敎大学鷹陵文化叢書⑮

日本国の災害と道真の霊・六波羅蜜寺の信仰と空也・浄土宗の布教と法然伝の3部構成で、仏・菩薩が衆生を救うためにこの世に現れた仮の姿について明かす。

【内容】Ⅰ「天神」日本国の災害と道真の霊／Ⅱ「空也」六波羅蜜寺の信仰と空也／Ⅲ「法然」浄土宗の布教と法然伝

▶四六判・312頁／本体2,300円

ISBN4-7842-1321-X

**太子信仰と天神信仰 信仰と表現の位相**

武田佐知子編

時代を超えて上下を通じた諸階層の篤い崇敬を得てきた、聖徳太子信仰・天神信仰の比較研究。各専門分野の研究者による、両信仰に関わる美術史、文学史、宗教史、芸能史的研究を集成し、時代のニーズとともに変化する信仰の形態や、それに付随するイメージの付与、そして宗派や地域を越えて多面的に利用される信仰の進化形を明かす。

▶A5判・354頁／本体6,500円

ISBN978-4-7842-1473-0

**法然絵伝を読む**

中井眞孝著

佛敎大学鷹陵文化叢書⑫

国宝『法然上人行状絵図』（知恩院蔵）から、その生涯のトピックスとなる事項の記事を選び、読み下し・現代語訳と解説を付し、あわせて他本との比較も行う。法然伝研究の第一人者が描く”絵伝に読む法然像”。口絵カラー4頁・挿図45点。

【内容】法然絵伝の系譜／Ⅰ法然の生涯／Ⅱ法然をめぐる人々

▶四六判・234頁／本体1,800円

ISBN4-7842-1235-3

**中世京都の民衆と社会**【オンデマンド版】

河内将芳著

中・近世移行期京都において公文書の宛所となった自律的な社会集団の三類型、すなわち地縁結合としての町、職縁結合としての酒屋・土倉、信仰結合である法華一揆について、バランスよく関連付け、それらが実際にいかに都市民衆の上に表示し交差したのか、その歴史的展開を具体的に検討していく。（初版2000年）

▶A5判・414頁／本体8,800円

ISBN978-4-7842-7003-3

**中世寺院社会と民衆 衆徒と馬借・神人・河原者**

下坂守著

中世において比叡山延暦寺が果たした歴史的役割を、同寺の活動実態とその支配下にあった京・近江の民衆との関係を中心に考察する。山門の「惣寺」がどのような組織と機能をもつものであったか、大津神人が山門の活動にどのような影響を与えたかを論じ、さらには、中世都市京都の変容についても絵画史料を駆使して明らかにする。

▶A5判・432頁／本体7,500円

ISBN978-4-7842-1779-3

**日本中世の王権と権威**【オンデマンド版】

伊藤喜良著

中世天皇制研究の展開。中世前期から室町時代にかけての、天皇制と公家政権にまつわる社会思想、民衆意識、身分制等を祭祀・説話・淨機観・殺生等の鋭い切り口で分析した意義深い論文集。（初版1993年）

【内容】Ⅰ天皇制と観念的権威／Ⅱ南北朝動乱と社会思想／Ⅲ室町幕府と王権

▶A5判・414頁／本体8,300円

ISBN978-4-7842-7012-5

**近世の王権と仏教**

大桑齊著

通説的には、近世という時代は、国家も社会も思想も、宗教世界の中世を克服した世俗世界であるとされる。本書は、そのような認識は近代の眼から見たものであるとして、真っ向から異を唱え、幕藩体制そのものが神聖性を帯びていたことを明らかにする。近世国家の宗教性を論証し、さらには仏教的世界としての近世を論じた論考を収める。

▶A5判・352頁／本体6,500円

ISBN978-4-7842-1811-0

**怨霊・怪異・伊勢神宮**

山田雄司著

古代・中世社会で大きな意味をもち、社会の底流で歴史を動かしてきた怨霊・怪異。早良親王・菅原道真・崇徳院などの怨霊や、様々に記録・伝承される怪異など、その諸相を歴史的に跡づける。さらには親鸞や伊勢神宮といった、神と仏をめぐる領域をも射程に入れて集大成する。日本図書館協会選定図書。

▶A5判・448頁／本体7,000円

ISBN978-4-7842-1747-2

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年2回無料でお送りしています。  
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。 ※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。